


【著者三輪宗弘先生からのメッセージ】

「はしがき」と「あとがき」を最初にお目通しください。それから目次をながめ、関心のある資料館ガイドをお読みください。30年間のノウハウが詰まっています。堅苦しくないように書きました。

はじめて海外アーカイブで調査する若人（若い研究の卵の大学院生）に少しでも役立つという狙いで、九州大学図書館のホームページに「アーカイブ情報」を提供し、調査訪問後、変更点を加筆し、情報のアップデートを続けてきました。それを今回、片手で持てるブックレットスタイルにまとめたのが本書です。

日本人利用者はRG331（GHQ-SCAP）の資料の閲覧者が多いでしょう。現物が閲覧に供されていますので、国立国会図書館のマイクロフィッシュで資料を眺める10倍以上のスピードで資料を読むことができます。RG331の写真を16頁17頁に掲げました。17頁の写真は九大医学部の生体解剖事件関係の入った箱です。

RG131は真珠湾攻撃直後に押収された商社資料が入っています。商社資料は「考課状」をまず探し、全体の流れをつかんでから料理に入るとよいでしょう。銀行関係は細かすぎて、迷子になります。商社の資料は研究が進んでいますが、銀行関係の資料は研究が進んでいません。多くの研究者が登頂を試みたのですが、まだ1合目から5合目のキャンプに過ぎません。米国国立公文書館所蔵の写真とか動画の研究もこれからです。マニアにぜひ開拓をお願いしたいです。RG554は何が出てくるかわからない面白さがあります。国会図書館でネット公開されていますが、Entryに濃淡があり、現物にあたらないと効率が悪いでしょう。若い大学院生に「目からウロコ」の出るような研究に期待したいです。

『からウロコの海外資料館めぐり』が若い研究者に少しでも役に立ち、海外での資料調査が捗り、学会誌の投稿論文につながれば幸いです。また、日本の遅れた公文書の廃棄・選別そして公開（一定期間の非公開も含む）にも関心を持っていただければと願います。

訂正のお願い

3頁ですが、「本人の了解は得ている」→「本人の了解は得ていない」の誤りです。訂正してください。捏造されたのは、高田利種少将のインタビュー記録です。